

IT 関連の採択決議案

規定審議会で採択された制定案は直ちに定款・細則に反映されて、7月1日から施行されますが、決議案については理事会がその取り扱いを決定します。規定審議会で採択されても、それが実施されるか否かは微妙であり、過去の例から見れば、採択決議案の70-80%は無視されるようです。ちなみに2004年規定審議会の例では、26の採択決議案のうち、RI理事会が実施を決めたのは6例でした。

今回の規定審議会で採択された、ITに関連した決議案の幾つかについて、RI理事会に対する要望をまとめてみました。

決議案 07-180 ロータリー・クラブへの連絡を行うにあたり、より効率的で費用のかからない方法を見つけることを検討するよう、RI理事会に要請する件

ロータリー・クラブとクラブ会員は、理事会による決定事項や常任委員会によって現在検討されている事項や、これらの委員会が出した結論について、迅速かつ正確な情報を得る権利を持っています。公式雑誌や承認された地域雑誌のみによってこれらの情報を伝達することには限界があり、さらに費用の面からも、今後は、さらにデジタル・デバイスを有効に活用することが避けられません。なお、その環境にないロータリアンも存在することも考慮しつつ、国際ロータリー理事会は、情報、内部での討論、アイデア交換に対するニーズの総合的調査を始め、そのニーズを満たすために適切な手段と方法を見つけるよう検討し、次回の規定審議会にその具体策を提出することが必要です。

現在情報提供のほとんどは英語でなされていますが、ロータリーが世界的組織であり、均等な人頭分担金を負担している限り、これらの情報は、言語別に公平に提供されなければなりません。

決議案 07-183 ロータリアンが RI ウェブサイトを通じて会員情報を制限付きで見ることができるようにすることを検討するよう、RI理事会に要請する件

RI ウェブサイトの「会員アクセスページ」には個人のロータリー財団寄付記録やEメールの情報が記載されています。たとえ読み取り専用と言えども、個人情報を他人が閲覧することに問題があります。

制定案 07-185 クラブと地区のウェブサイト、ロータリー・ワールドワイド・ウェブへのリンクを義務付ける件

クラブや地区のウェブサイトからロータリー・ワールドワイド・ウェブへのリンクを設けることは賛成ですが、現時点ではロータリー・ワールドワイド・ウェブは大部分が英語による情報提供であって、僅かに設けられている言語別ウェブサイトの内容もRI公式文献のみで、利用価値は限られています。

全てのロータリアンは同額の人頭分担金を支払っているのに、平等な情報提供を受ける権利があるにもかかわらず、現状では英語以外の情報提供は極めて少ないのが現実です。言語別ロータリー・ワールドワイド・ウェブの内容を充実することを優先すべきです。

RI の他国語への翻訳作業には限界があるとすれば、2000 年に認可した言語別ウェブ・コミュニティ制度(日本ではRJW)を復活して、各国の言語を尊重したウェブサイトの再構築を促して、それぞれの国の組織を活用してロータリー情報の共有を積極的に進めるべきだと考えます。

決議案 07-184 RI ウェブサイト上の資料の説明を改善することを検討するよう、RI 理事会に要請する件

現在の RI ウェブサイト上の公式文献は出版番号と言語が記載されているのみで、改訂年月の記載がありません。さらに資料の更新年月日の記載もないために、いつ改定された資料なのかが不明です。すべての RI 公式文献には出版番号と言語／出版年月を表示すべきと考えます。

決議案 07-186 ロータリーのウェブサイトに、E クラブへの目立つリンクを設けることを検討するよう、RI 理事会に要請する件

メイクアップはクラブ例会に参加することが原則であり、E クラブによるメイクアップは、特別な事態における緊急避難に限定すべきだと思います。

E クラブによるメイクアップは、定款上は 30 分間相互参加型の例会に参加するように規定されているにもかかわらず、現実には短時間の一方的なアクセスのみで自動返信によって例会参加が成立する仕組みになっており、明らかに定款違反の状況が放置されています。E クラブへの参加を積極的に進める理由は見当たりません。従って、現時点では、RI ウェブサイトのホームページにロータリーE クラブへの目立つリンクを設ける必要はないと考えます。

決議案 07-187 クラブが使用するために、インターネットのソフトウェアとプラットフォームを提供することを検討するよう、RI 理事会に要請する件

賛成であるが、公式言語すべてについて平等に利用可能な翻訳機能を備えるか、言語別インターネットを基盤とした会議用ソフトウェアとプラットフォームを提供することが必要です。英語圏以外のロータリアンが存在することを忘れてはなりません。

2007 年 7 月 6 日